

# 令和元年度 第6学年学力・学習状況調査結果のお知らせ

4月18日に実施した全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

## 1 調査内容

○ 国語，算数

※ 併せて，生活習慣・学習意欲・学習方法等に関するアンケート調査も実施されました。

## 2 結果の概要

(1) 国語，算数

※ 本校の正答率が全国標準と比べて，「上回っている」「やや上回っている」「同程度である」「努力を要する」のいずれであるかを表記しています。

教科	全国標準と比べた正答率	正答率が高い問題	本校での正答率が低い問題
国語	上回っている。	○報告文の中にある資料の説明をどのような目的で用いられているか理解できている。	●目的や意図に応じて，自分の考えの理由を明確にし，まとめて書く。

教科	全国標準と比べた正答率	正答率が高い問題	本校での正答率が低い問題
算数	上回っている。	○全体の使用量をグラフの中から読み取って比べる量の何倍かを読み取る。	●示された計算の仕方を解釈し減法の場合を基に，除法に関して成り立つ性質を記述できる。

(2) 生活習慣に関するアンケート

よ さ	課 題
○読書をしたり，新聞を読んだりする児童が全国平均と比べて多い。 ○家庭学習をしている児童が全国平均よりも10ポイント以上高い。	●今住んでいる地域の行事に参加する児童が全国平均と比べて少ない。

## 3 総評

国語，算数における全ての領域において理解が深まっています。

国語では，目的に応じて本や文章を読み，内容や構成について理解する力と，要旨や書き手の意図に沿って適切に読み取る力は，全国平均及び福岡県の平均よりも上回っています。

しかし，内容を読み取り自分の考えを文章にすることについては若干課題も見られます。

算数では，基礎的・基本的な知識・理解を身につけているかという設問において，正答率が高くなっています。ただ，計算の方法を記述するという問題の正答率については低い傾向があります。

生活習慣に関するアンケートでは，読書をしたり新聞を読んだりする子どもは全国平均及び福岡県平均よりも多く，また，家庭学習や習い事での学習時間が長くなっており，学校の授業以外の時間で多く費やされている傾向が見られました。

## 4 今後の取り組み

○ 「めあて」と「まとめ」を明確にした学習を行うとともに，「物構え」「身構え」「心構え」といった学習規律の定着を今後とも徹底させていきます。

○ 以下の活動を授業に位置付け，子どもの理解を深めていきます。

- ・ 答えを導き出した過程や自分の考えを言葉，式，図などで表現し説明する。
  - ・ 友達の意見を聞き取って，友達の考えを書いたり，自分の考えと比べたりする。
  - ・ 1時間の学習で分かったことや感じたことを書く。
- 算数においては，ティームティーチングや個別指導などの学習の充実を図ります。
  - 4月に配付した家庭学習の手引きを踏まえ，宿題以外の自主的学習を進めていきます。
  - 「読書週間」の取り組みやP T Aの図書ボランティアによる読み聞かせを通して，読書活動を進めていきます。
  - 「ノーテレビ・ノーメディア」や「早寝・早起き・朝ご飯」の取組を継続し，生活習慣を整えていくようにします。